

まちづくりのDX (Urban Digital Transformation)事業

Project PLATEAUについて

2021/2/5 データ駆動型社会に対応したまちづくりに関する勉強会

MLIT

都市局 都市政策課
課長補佐 内山裕弥



本日のアジェンダ

1. プロジェクトの概要
2. 3D都市モデル
3. ユースケース
4. 整備・活用ムーブメントの惹起
5. 今後の展開



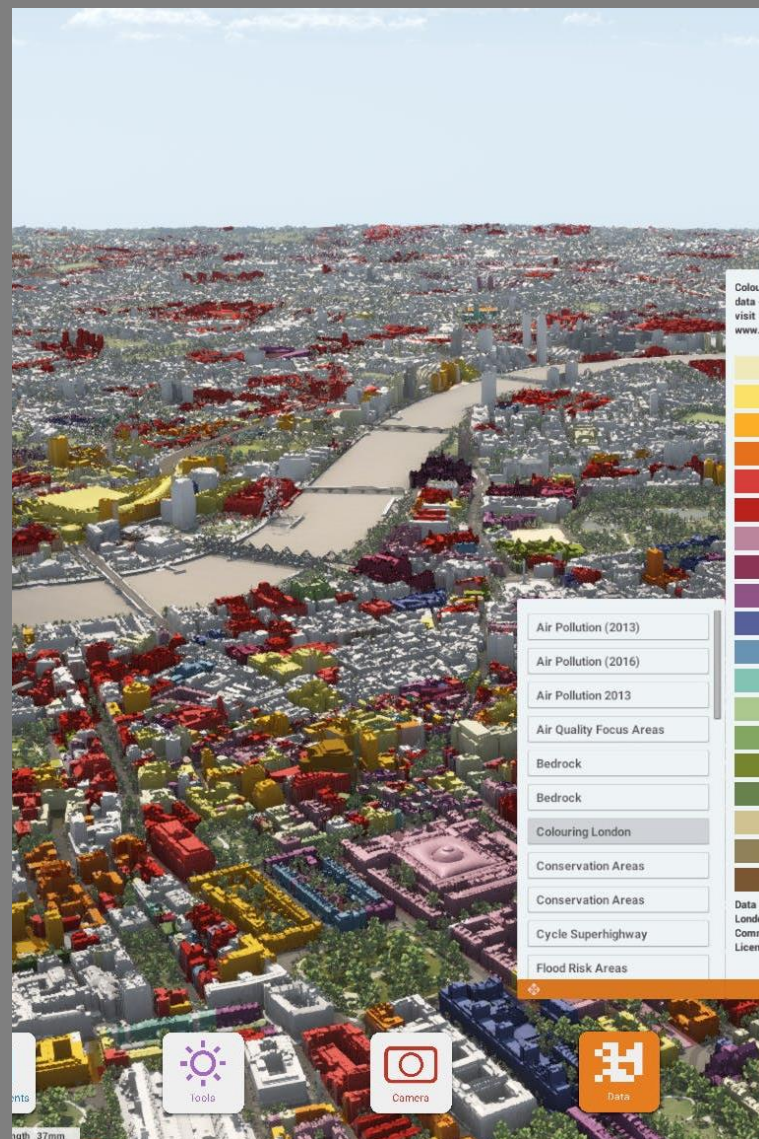
P L A T E A U
by M L I T

本日のアジェンダ

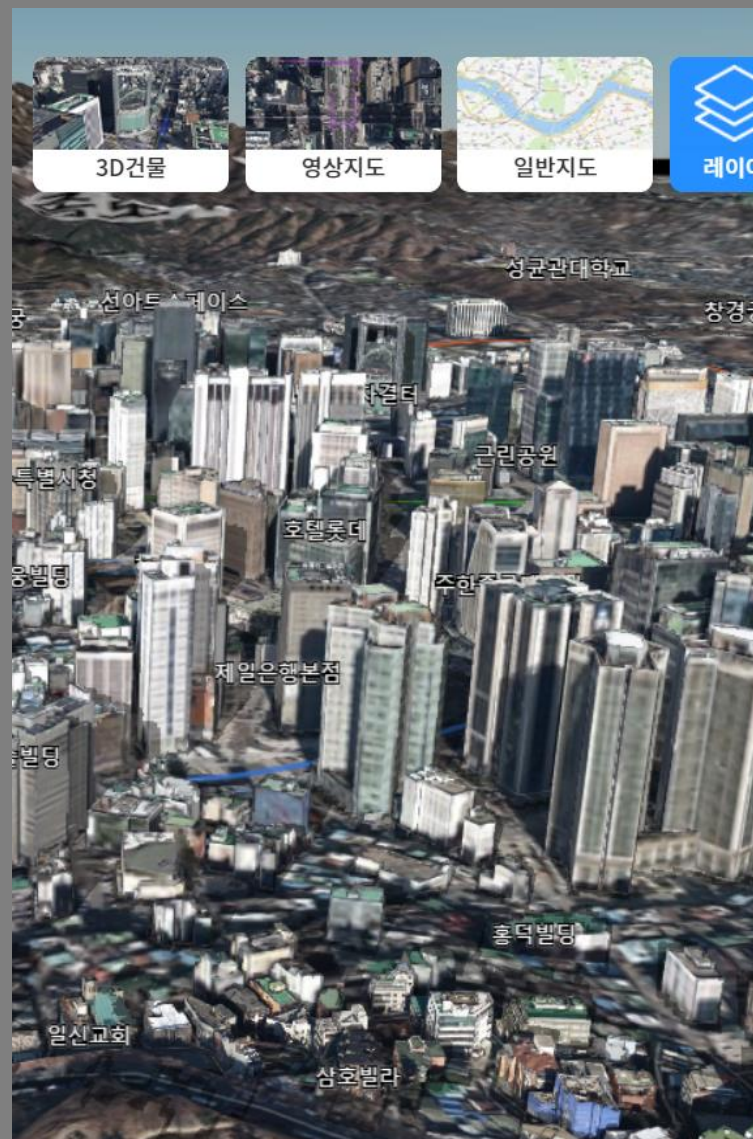
1. プロジェクトの概要
2. 3D都市モデル
3. ユースケース
4. 整備・活用ムーブメントの惹起
5. 今後の展開

UDX事業の狙い、目指す成果

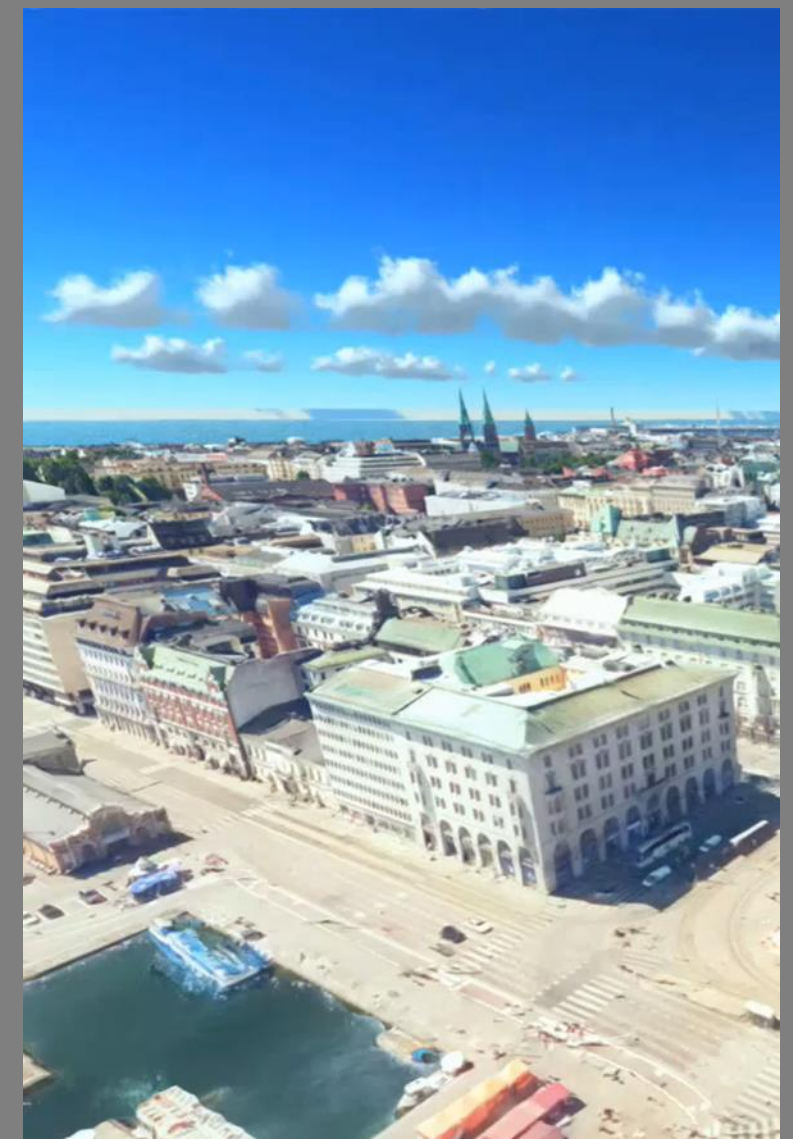
3D都市モデルというソリューション



VU.CITY LONDON



S-MAP SEOUL



Helsinki 3D +

1. プロジェクトの概要

UDX事業の全体像 — 3つのスコープと目指すべき価値

① 3D都市モデルの整備

② 3D都市モデルのユースケース開発

③ 3D都市モデルの整備・活用ムーブメントの惹起

全体最適・持続可能なまちづくり

3D都市モデルをプラットフォームデータとして防災、環境、交通等の多様な都市課題をサイバー空間上で一体的に分析し、フィジカル空間にフィードバック。

総合的な構想・計画に基づいた、**全体最適・持続可能なまちづくりを推進**。

人間中心・市民参加型のまちづくり

3D都市モデルが可視化する**具体的で精緻なまちの現状・将来パターン**を、一部の専門家でなく市民レベルに共有。

課題を市民目線に落とし込み、**多様な主体の知恵・思いを詰め込んだ参加型、実験型のまちづくり**。

機動的で機敏なまちづくり

中長周期のまちの静的なデータに、人の流れなどの短周期の動的なデータを補完することにより、**都市活動の状況をより精緻に再現・予測（シミュレーション）**。

最新技術も活用し、**機動的で機敏なまちづくり**を実現。

本日のアジェンダ

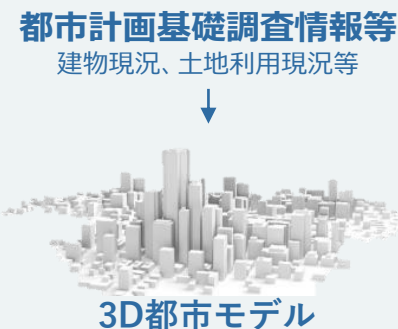
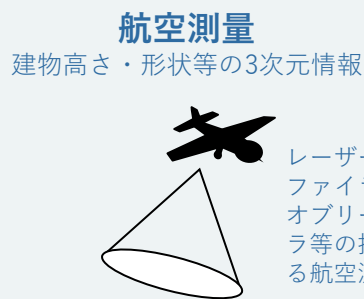
1. プロジェクトの概要
2. 3D都市モデル
3. ユースケース
4. 整備・活用ムーブメントの惹起
5. 今後の展開

3D都市モデルとは何か？

2. 3D都市モデル

① 3D都市モデルの整備

- ✓ 都市計画のために作成されている「**都市計画基本図**」等の都市の図形情報（都市計画GIS）と航空測量等によって取得される**建物・地形の高さや建物の形状情報**を掛け合わせ、建物等の3次元モデルを作成。
- ✓ 建物に都市計画基礎調査等によって取得された**属性情報（都市空間の意味情報）**を付加して3D都市モデルを構築。
- ✓ 今回の事業では、リーディングプロジェクトとして、公募により**全国56都市****約10,000km²の3D都市モデルを国直轄調査として整備**。



3D都市モデル整備対象都市

No.	都道府県	団体名	No.	都道府県	団体名
1	北海道	札幌市	29	静岡県	沼津市
2	福島県	郡山市	30	静岡県	掛川市
3	福島県	いわき市	31	静岡県	菊川市
4	福島県	白河市	32	愛知県	名古屋市
5	茨城県	鉾田市	33	愛知県	岡崎市
6	栃木県	宇都宮市	34	愛知県	津島市
7	群馬県	桐生市	35	愛知県	安城市
8	群馬県	館林市	36	大阪府	大阪市
9	埼玉県	さいたま市	37	大阪府	豊中市
10	埼玉県	熊谷市	38	大阪府	池田市
11	埼玉県	新座市	39	大阪府	高槻市
12	埼玉県	毛呂山町	40	大阪府	摂津市
13	千葉県	柏市	41	大阪府	忠岡町
14	東京都	23区	42	兵庫県	加古川市
15	東京都	東村山市	43	鳥取県	鳥取市
16	神奈川県	横浜市	44	広島県	呉市
17	神奈川県	川崎市	45	広島県	福山市
18	神奈川県	相模原市	46	愛媛県	松山市
19	神奈川県	横須賀市	47	福岡県	北九州市
20	神奈川県	箱根町	48	福岡県	久留米市
21	新潟県	新潟市	49	福岡県	飯塚市
22	石川県	金沢市	50	福岡県	宗像市
23	石川県	加賀市	51	熊本県	熊本市
24	長野県	松本市	52	熊本県	荒尾市
25	長野県	岡谷市	53	熊本県	玉名市
26	長野県	伊那市	54	熊本県	益城町
27	長野県	茅野市	55	大分県	日田市
28	岐阜県	岐阜市	56	沖縄県	那覇市

2. 3D都市モデル

② 既存データの活用／地方自治体との連携

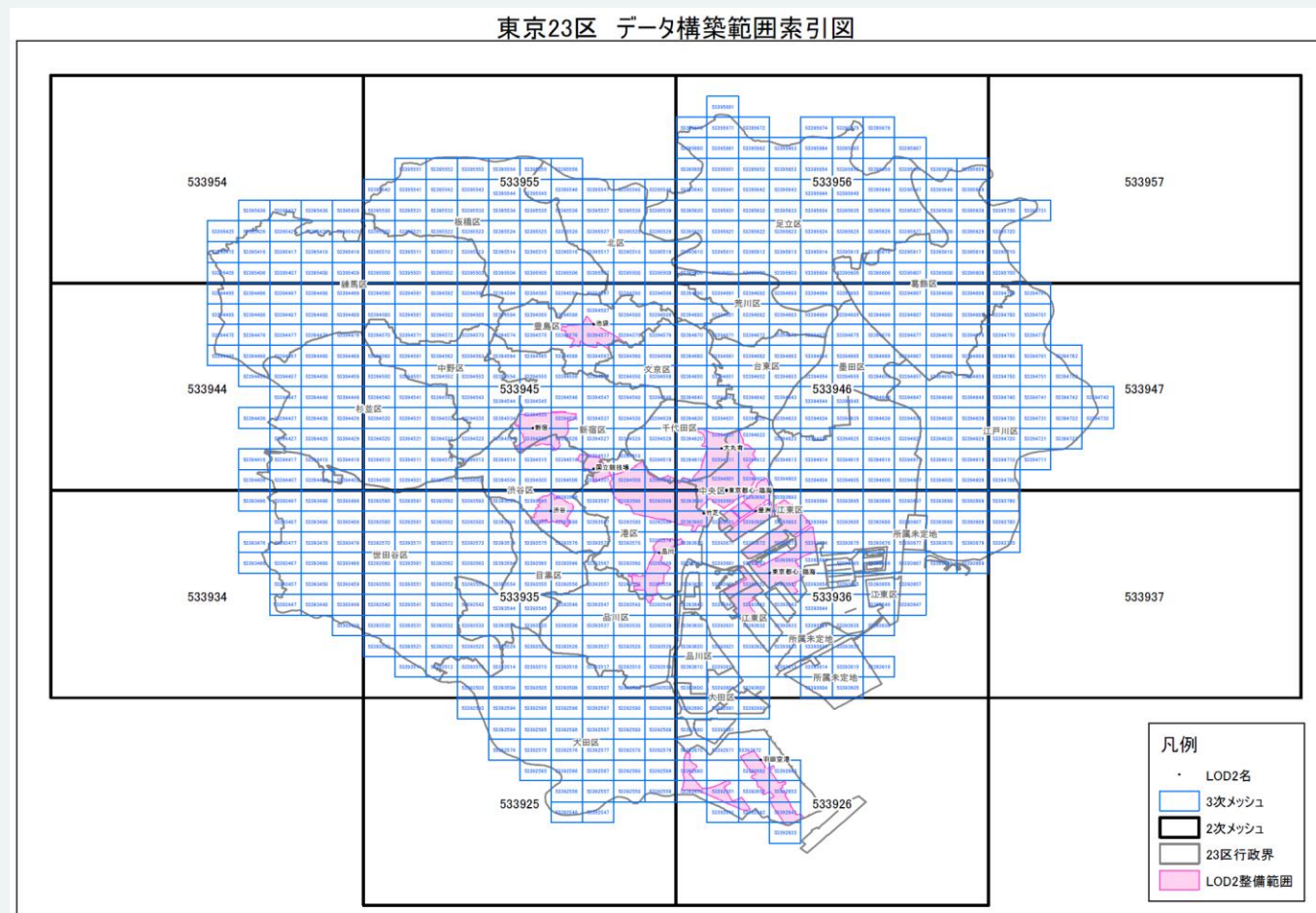
〔東京23区のデータ構築〕

- ✓ 3D都市モデル整備のリーディングケースとして、東京23区を先行的に作成・公表。
- ✓ 東京23区の3D都市モデルは、**土地利用現況調査、建物現況調査等の都市計画基礎調査のGISデータ**を東京都から借用し、これを基に2D図形を作成。**航空測量で取得した建物高さや建物形状**と掛け合わせてモデリング。
- ✓ 都市計画基礎調査データのうちオープンデータ化可能な属性情報を国土交通省と東京都で調整し、モデルデータに付加。コンフィデンシャルデータを含むデータセットは東京都に別途譲渡。

〔東京23区データに含まれる属性情報の例〕

LOD2属性情報		都市計画情報	
建物 利用 現況	図形面積		用地地域
	建物地上階数		高度地区
	建物地下階数		防火及び準防火地域
	建物構造		地区計画
	建物用途分類		
	住所（町丁目）		

〔東京23区のデータ構築範囲〕



2. 3D都市モデル

② 既存データの活用／地方自治体との連携

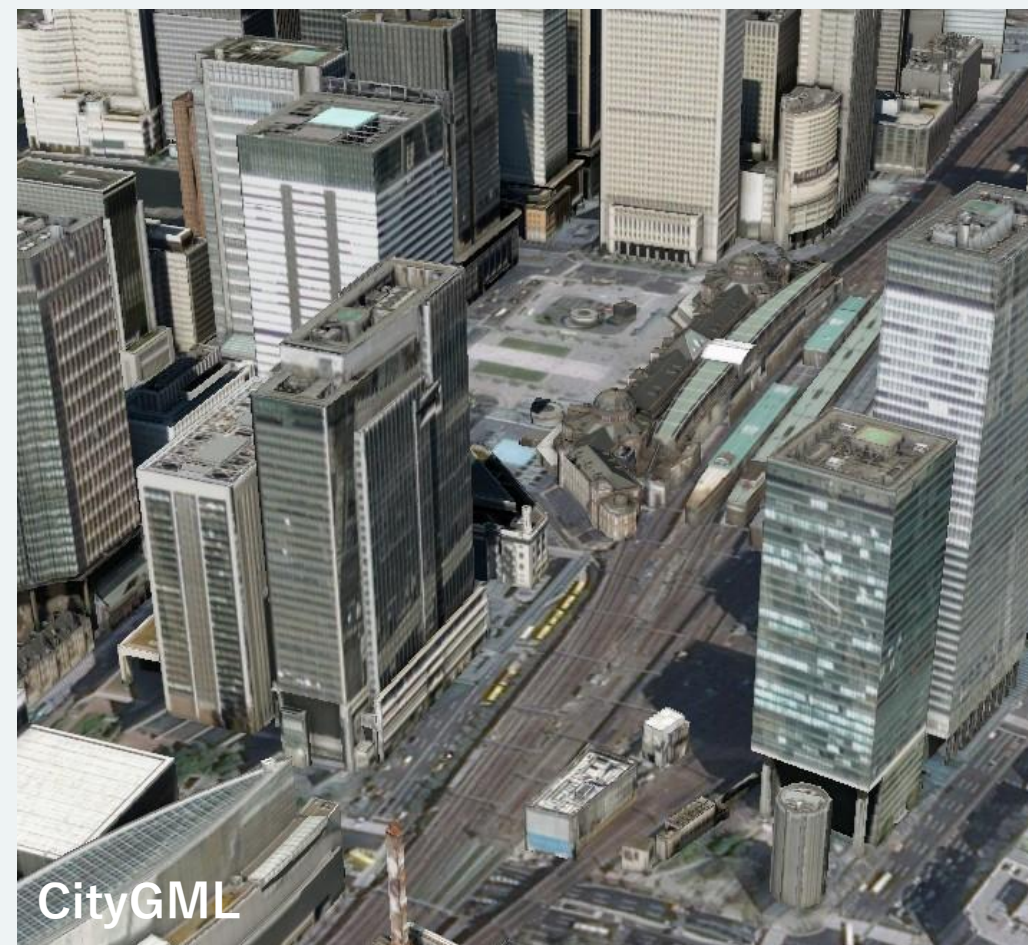
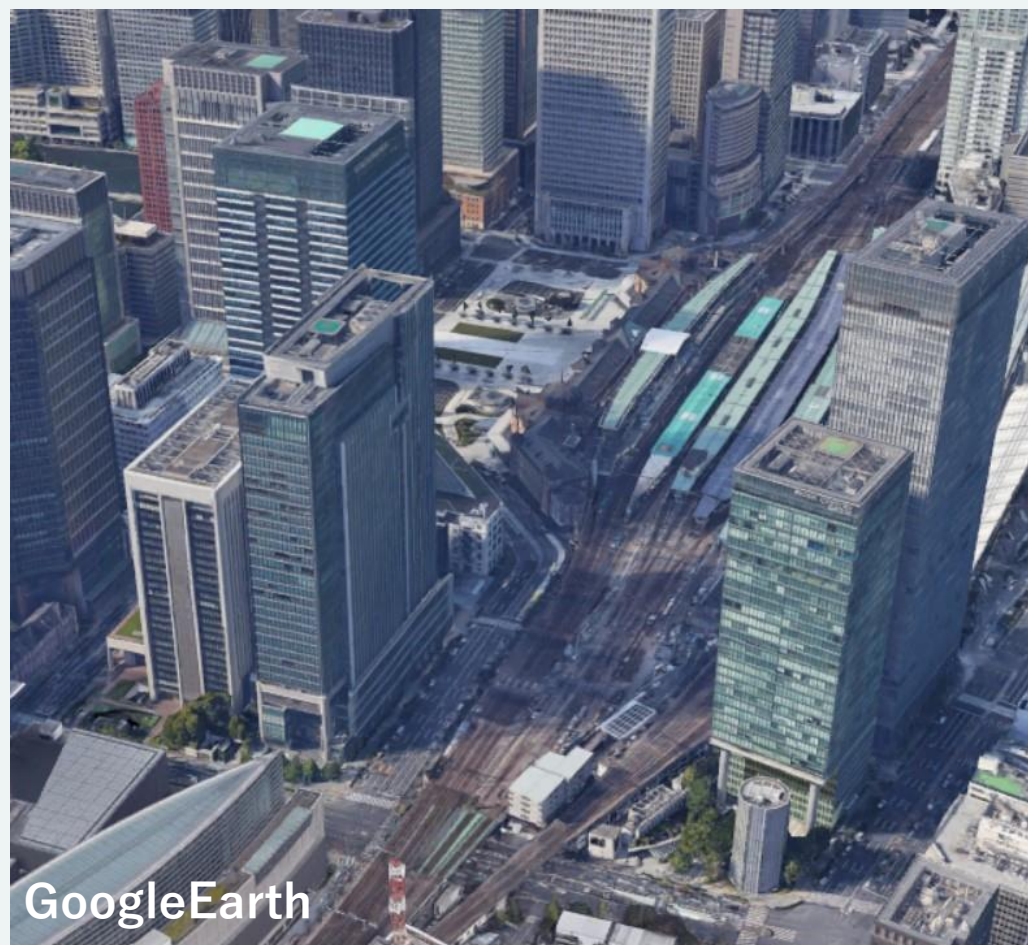
〔データ構築・更新の手法〕

- ✓ 3D都市モデルは**地方公共団体が保有する既存データ**やオープンデータ、商用データ等を組み合わせることで**安価・効率的に構築・更新できる**。
- ✓ 例えば、もっとも簡素なモデルである**LOD1の3D都市モデル**は、**都市計画基礎調査**において取得される二次元図形や建物の高さ情報、建物属性情報を用いることで構築可能。
- ✓ 都市計画基礎調査等の**定期的に取得・更新されるGISデータ**を利用することで、建物の建て替わりや街区の整理等の**都市の更新に対応した3D都市モデルの更新も可能**。なお、都市計画基本図を作成する地方自治体のうち約60%がGISデータを保有しており（R2.都市局調）、ポテンシャルは高い。
- ✓ 必要に応じて地図情報レベルを上げたり、商用データや新規測量を取り入れることで、さらに詳細なモデル構築や短周期のデータ更新が可能。
- ✓ **3D都市モデルの拡張性には限界はない**ため、あらゆる庁内セクションのデータを取り入れることが可能（**3D都市空間情報プラットフォーム**）。**地方自治体内のGISデータを統合した統一モデルを運用することも可能**。

建物図形 道路図等の 二次元情報		建物高さ・形状等の 三次元情報	属性情報
建物・道路等の施設系オブジェクト			形状属性情報（空間属性） ※形状、面積、高さ、階数、軒先高さ、体積、容積率、部材等
低 地図情報レベル	都市計画基本図等の地形図	建物高さデータ ※建物現況調査等で取得	都市計画基礎調査
	固定資産台帳等の不動産課税用に取得したGISデータ	既存測量成果 （航空写真・LPデータ） ※建物現況調査等で取得	建物利用現況
	道路台帳等の施設管理データ	新規測量・データ購入 ※航空測量、衛星写真測量、ドローン空撮等	都市属性情報（主題属性等） ※用途、構造、築年、規制情報、名称、履歴、土地利用、災害等
	オープンデータ		都市計画基礎調査
	商用データ		建物利用現況
高	新規測量・データ作成		土地利用現況
	2DCAD／3DCAD／BIM／CIM／LPデータ		都市計画GIS
二次元情報オブジェクト			その他庁内GISデータ ※課税情報、登記情報、政策調査結果（空き地・空き家等）
地形			災害系GISデータ
地理院タイル等のオープンデータ			オープンデータ
新規測量・データ作成			商用データ
商用データ			新規測量・データ作成

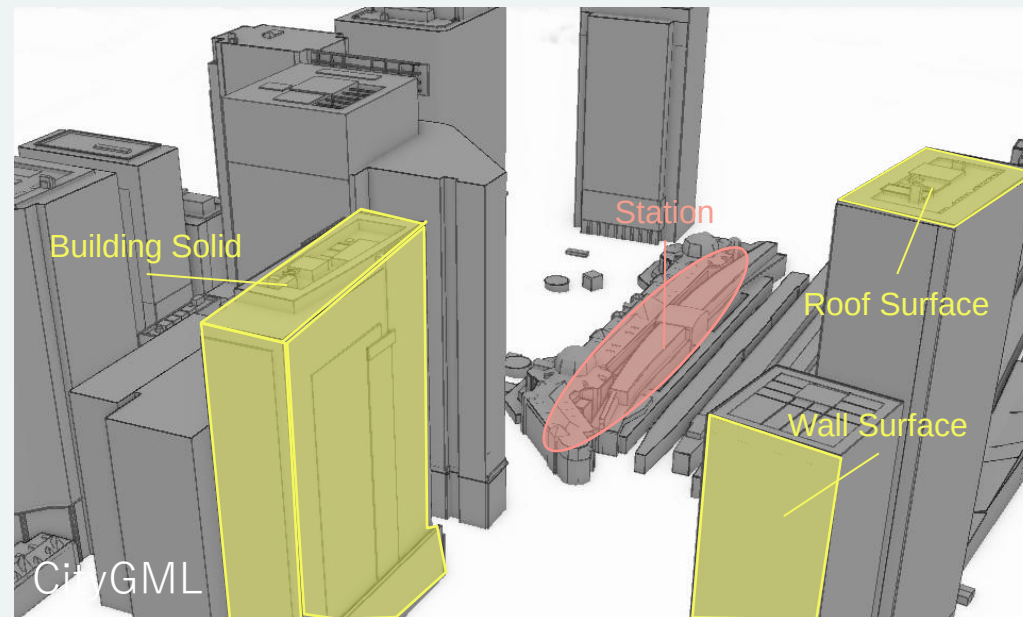
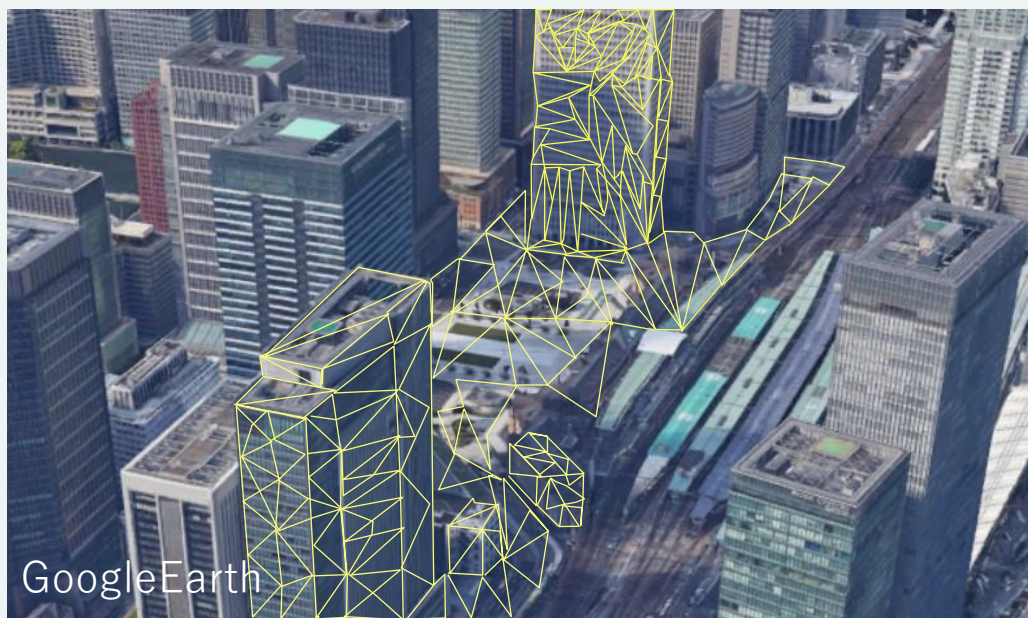
2. 3D都市モデル

何が違う？



2. 3D都市モデル

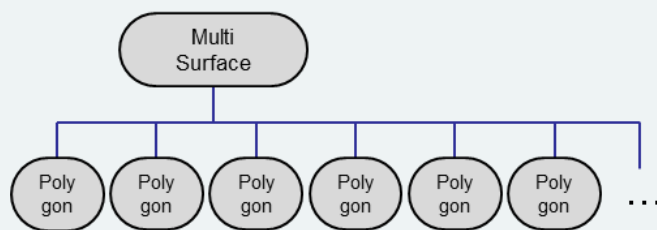
セマンティクスとジオメトリ



Semantics

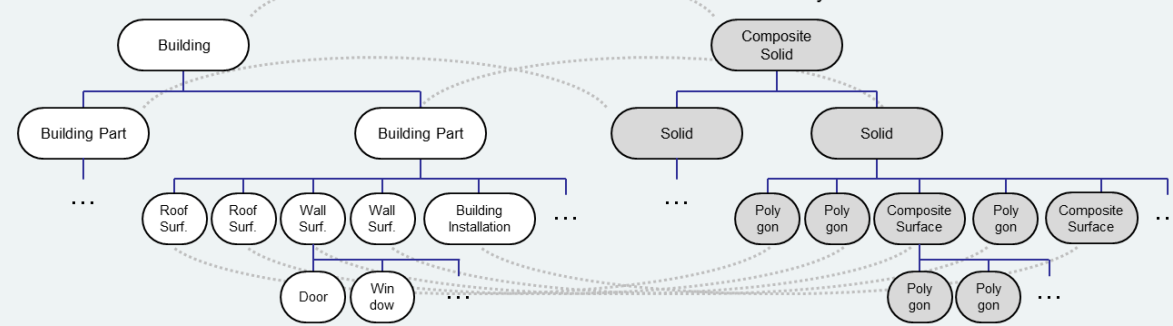


Geometry



Semantics

Geometry



2. 3D都市モデル

③ 3D都市モデルのデータ特性

〔セマンティクス(Semantics)とジオメトリ(Geometry)の統合モデル〕

- ✓ 一般的な商用3D地図のほとんどは単に都市空間の形状を再現した幾何形状(ジオメトリ)モデル＝地図を3D化したもの。
- ✓ 今回整備する3D都市モデルは、OGC標準データフォーマットであるCityGMLで構築。
- ✓ CityGMLは、都市空間に存在する建物や街路、橋梁といったオブジェクトを定義し、これに名称や用途、建設年、行政計画といった都市空間情報を付与することで、都市空間そのものを再現可能な世界唯一のセマンティック(意味論)・モデル。
- ✓ セマンティクスとジオメトリを都市スケールで統合することで、フィジカル空間とサイバー空間を高度に融合させ、都市計画立案への活用や都市活動のシミュレーション、分析が可能となる。

〔LOD (Level of Details) 概念の導入〕

- ✓ 従来の地図データは異なる縮尺間の互換性がなかったため、用途ごとに地図データがバラバラに存在。
- ✓ CityGMLはLOD (Level of Details) 概念を導入し、詳細度の異なる情報を統合的にデータ管理可能な機能を持つ。これにより、地図上の異なる詳細度の情報を一元的に管理・蓄積・利用することが可能。

OGC(Open Geospatial Consortium)



- ✓ 地理空間情報分野における国際標準化団体。
- ✓ 世界で500以上の企業、政府機関、研究機関等が加盟し、地理空間情報(geospatial information)の相互運用性向上を目的に様々な標準を提案・策定している。

LOD概念



2. 3D都市モデル

諸外国で採用されるCityGML



 NYC3D model

 Virtual Pasadena

 Virtual Rennes

 Berlin Economic Atlas

 Jaipur 3D City

 3D Montreal

本日のアジェンダ

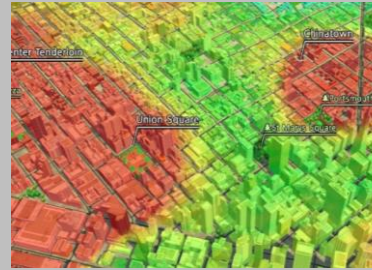
1. プロジェクトの概要
2. 3D都市モデル
- 3. ユースケース**
4. 整備・活用ムーブメントの惹起
5. 今後の展開

3D都市モデルが生み出すソリューション

3. ユースケース

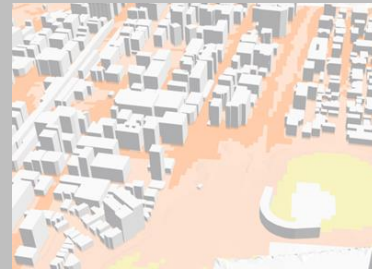
① 3D都市モデルのユースケース開発実証

- ✓ 新しいプラットフォームデータである3D都市モデルの活用ポテンシャルは国際的にも未開拓の分野。
- ✓ 今回のデータ整備とパッケージで**多様なユースケース開発の実証実験（PoC）／フィージビリティスタディを全国で実施。**
- ✓ 意欲のある地方自治体やエリマネ団体、民間企業等と幅広くパートナーリングを行い、**組成中のPJは30件以上。**
- ✓ 3D都市モデルのポテンシャルを引き出す成果を得ることを目指す。



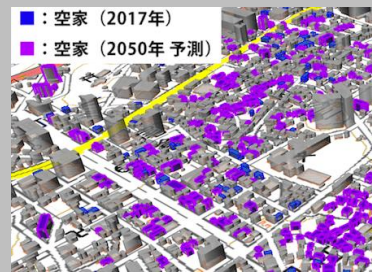
カメラ、センサー等の新技術を活用した都市活動の可視化

- ✓ コロナ対策としての密度コントロール
- ✓ まちなかの回遊状況の把握・賑わい創出への活用
- ✓ 帰宅困難者の避難誘導等



立体的都市構造の把握を通じた防災政策の高度化

- ✓ 洪水等の災害ハザード情報の立体的重ね合わせ
- ✓ 垂直避難可能な建物のピックアップ
- ✓ 通行可能な避難ルートの時系列シミュレーション



データを活用したまちづくり・都市開発の高度化

- ✓ スマート・プランニング、スマートシティの推進
- ✓ スマートなエリア・インフラ・ファシリティマネジメント
- ✓ 住民理解・住民参画のツールとして活用



3D都市モデルを活用した民間サービス市場の創出

- ✓ 市民のQoL向上に資するウェブ・アプリを開発
- ✓ まちづくり、インフラ管理からエンタメ、コミュニケーションに至るまで多様な分野でマネタイズを実証

3. ユースケース

② 3D都市モデルの提供価値

- ✓ 3D都市モデルの価値は、サイバー空間における都市空間の**可視化**、**再現**であり、これによってフィジカル空間との**双方向の作用**を可能とすること。
- ✓ 3D都市モデルが**都市空間情報プラットフォーム**としてこれらの価値を複合的に発揮することで、都市のデジタルツインや新たなソリューション創出を実現し得る。
- ✓ 3D都市モデル活用のリーディングケースを示し、官民の活用を促すため、全国でユースケース開発実証を実施し、その成果を知見として横展開していく。

「3D都市モデル」の提供価値

ビジュアライズ（視覚性）

- ✓ 都市空間を立体的に認識可能となり、説明力や説得力が向上

シミュレーション（再現性）

- ✓ 立体情報を持った都市空間をサイバー上に再現することで、幅広い/精密なシミュレーションが可能



3D都市モデルの提供価値

インタラクティブ（双方向性）

- ✓ フィジカル空間とサイバー空間が相互に情報を交換し、作用し合うためのプラットフォームを提供

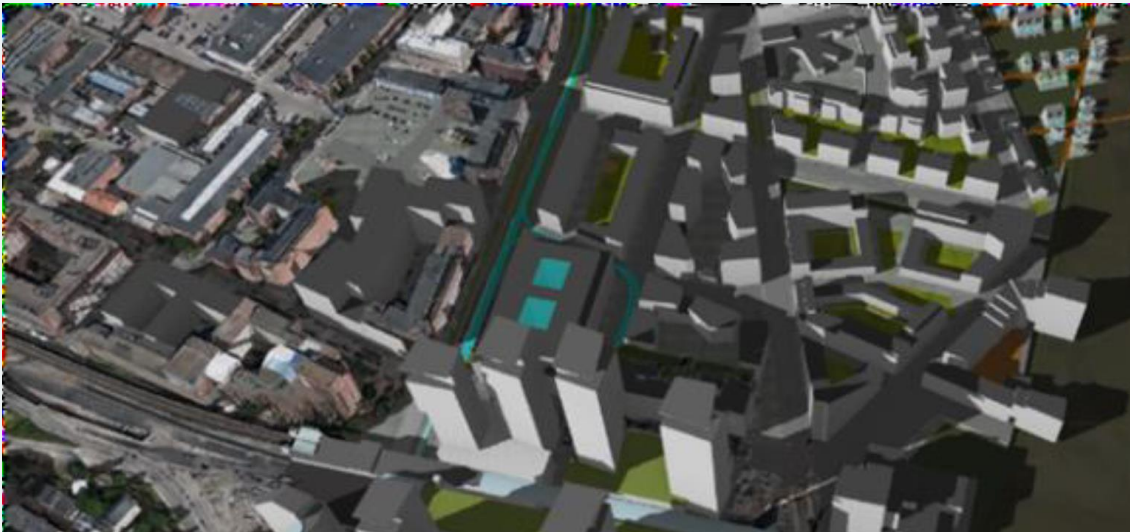
3. ユースケース

② 3D都市モデルの提供価値

〔まちづくりのシミュレーション〕

- ✓ 各オブジェクトの属性情報を活用して都市空間を再現し、精密なシミュレーションが可能。

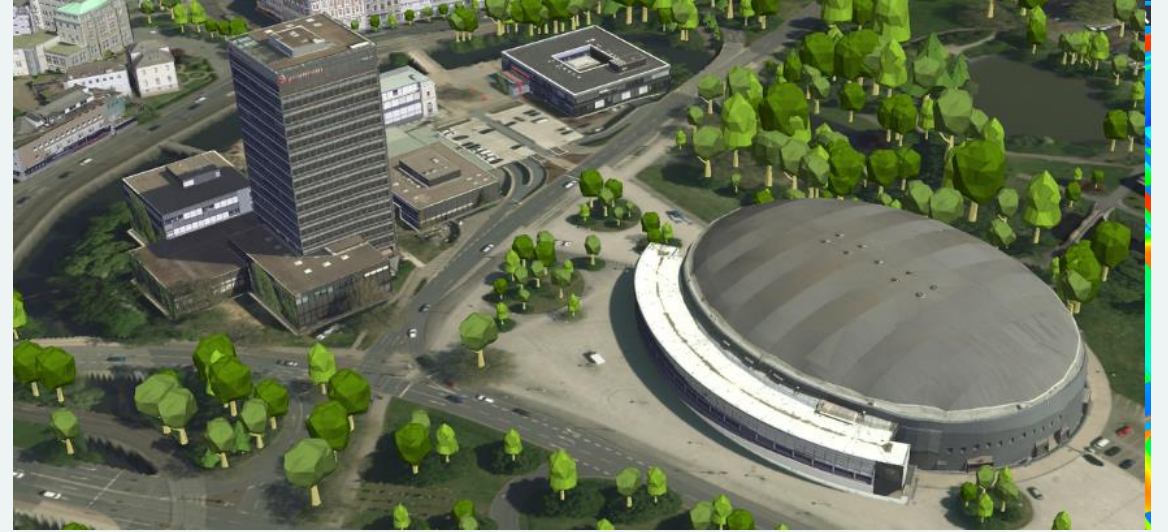
□建物高さと太陽位置から日陰をシミュレート



□交通容量と建物用途等の交通需要から交通量シミュレート



□開発前の景観や緑化率のシミュレート



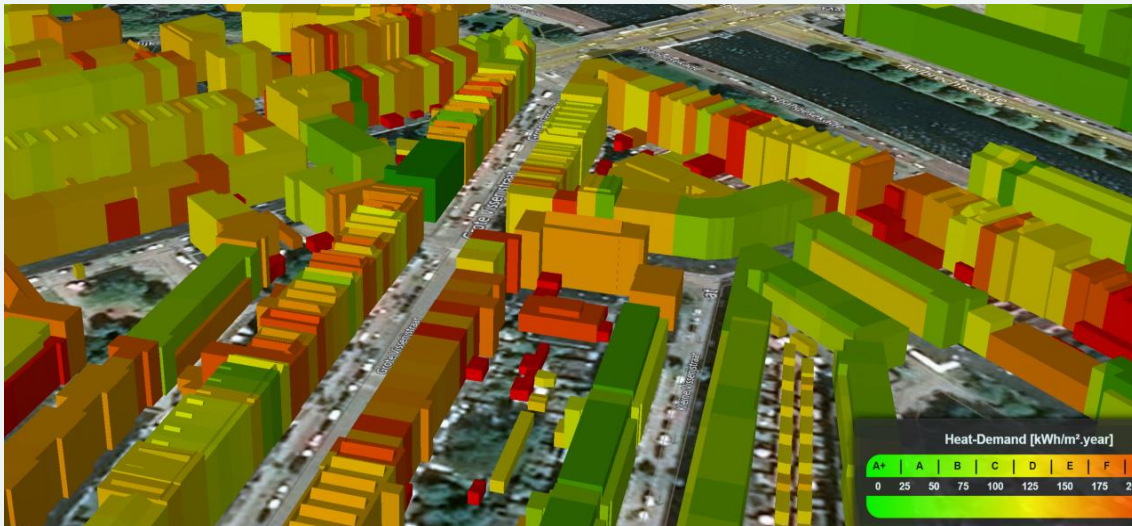
3. ユースケース

② 3D都市モデルの提供価値

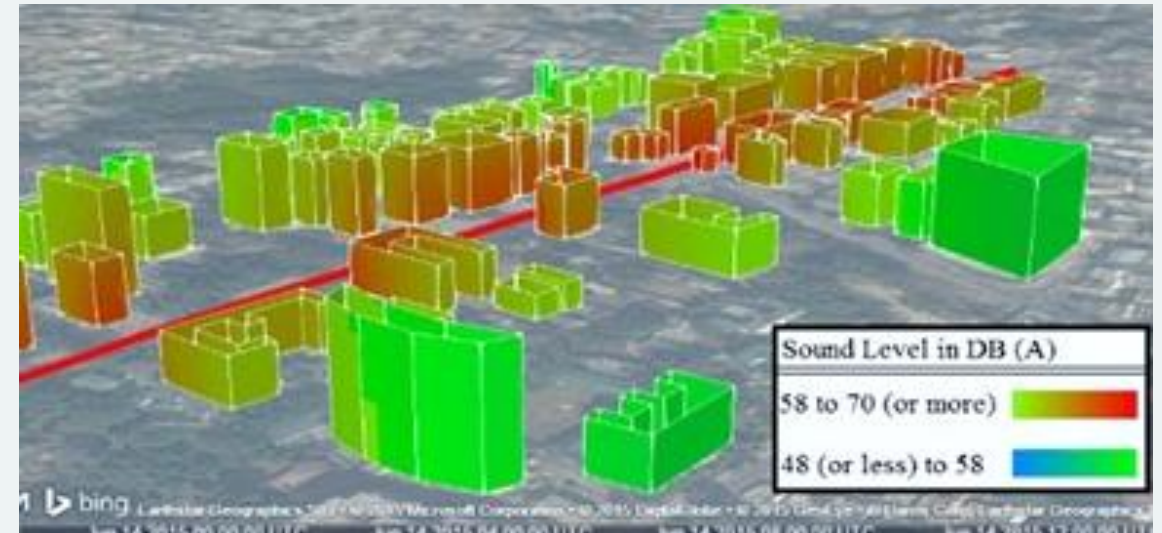
〔都市構造の可視化・分析〕

- ✓ 任意の属性情報をピックアップした都市スケールでの都市構造の可視化・分析が可能。

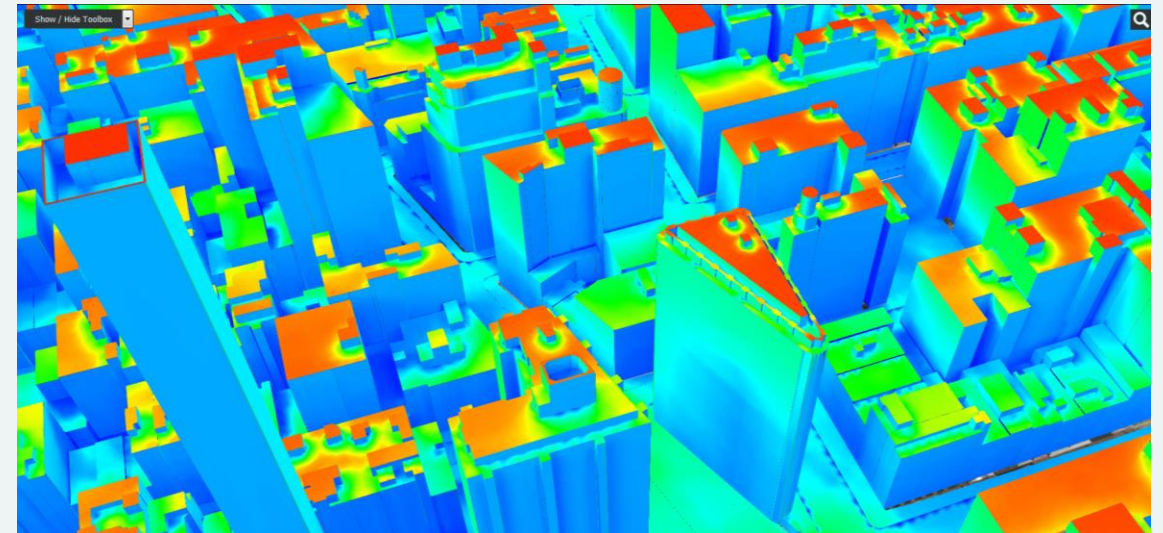
□ 建物容積や建物用途から熱需要量を推定



□ 建物壁面と道路との距離＋交通量データから騒音推定



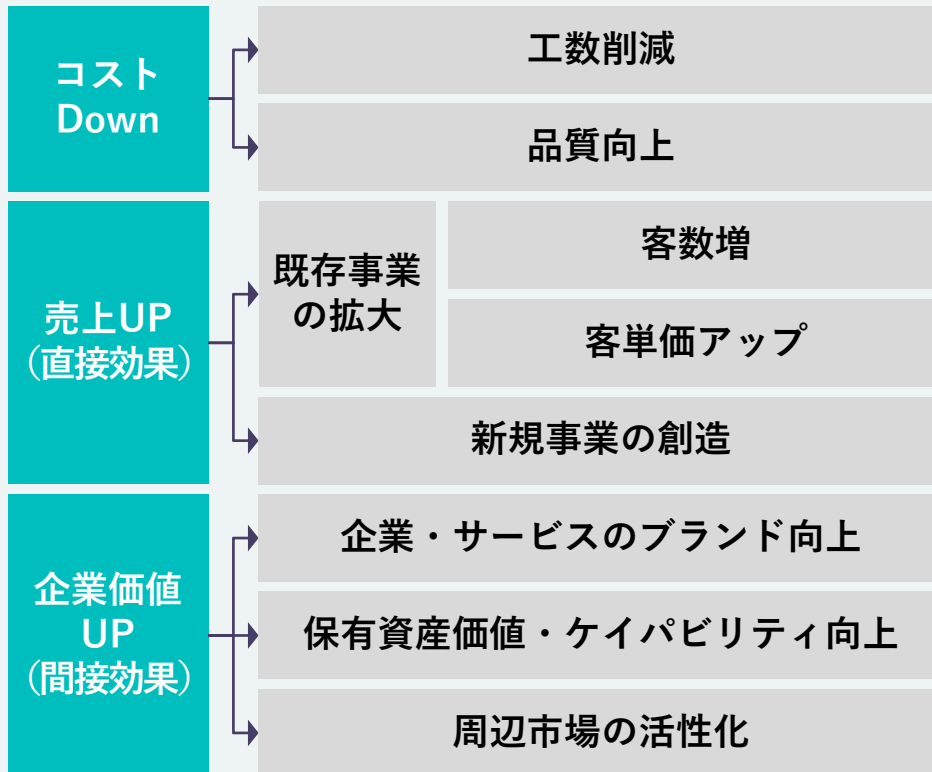
□ 屋根面積や高さ、角度から太陽光発電量を推定



3. ユースケース

② 3D都市モデルの提供価値

3D都市モデルを活用したマネタイズのポイント



多様な分野・業界における活用ポテンシャル

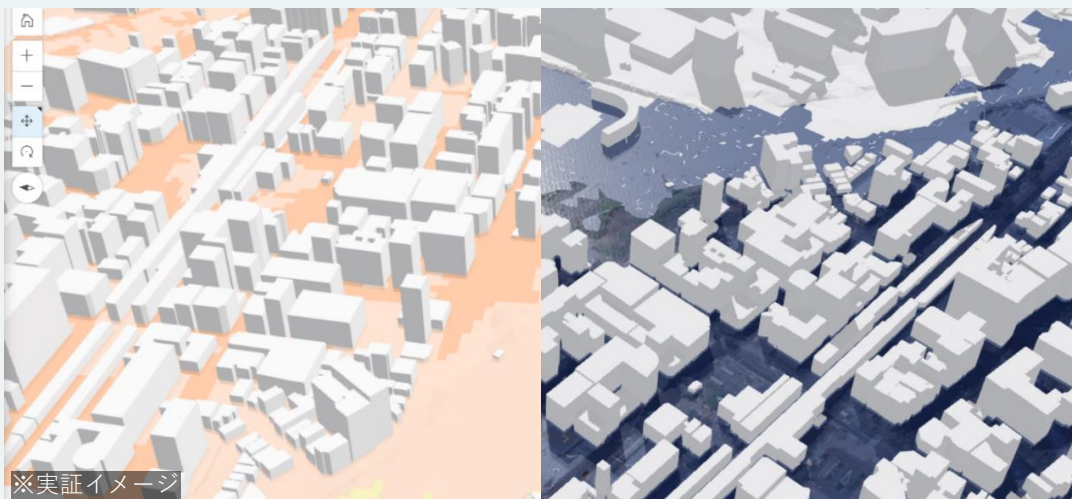
都市開発・建設	✓ 開発計画ビジュアル化 ✓ 開発シミュレーション ✓ 街区のファシリティマネジメント	観光	✓ VR観光体験 ✓ AR観光ナビ
インフラ管理・運営	✓ メンテナンス最適化 ✓ インフラ管理のデジタルツイン ✓ 地下インフラの可視化	エンタメ・レジャー	✓ VRイベントの開催 ✓ SNS・コミュニケーション ✓ コンテンツ作成への活用
環境・エネルギー	✓ エネルギー利用状況のモニタリング ✓ 発電量やビル風などの環境・エネルギーのシミュレーション	広告	✓ 広告効果シミュレーション ✓ バーチャル空間広告 ✓ ダイナミックプライシング
不動産流通	✓ 不動産見学（周辺景観シミュレーション・導線確認）	防犯・防災	✓ 災害シミュレーション ✓ 災害状況のモニタリング ✓ 警察・消防などの行動支援
小売	✓ 仮想空間でのイベントを開催 ✓ 実店舗をVR化し、オンライン上でショッピング体験を提供	医療・ウェルネス	✓ 救急車の最適なルート検討 ✓ 最適なウォーキング・ランニングコースの設定
交通・運輸	✓ ルート最適化・自動運転 ✓ 交通情報の発信 ✓ ルート・シミュレーション	食・農業	✓ スマート・農業 ✓ ARグルメナビ
物流	✓ ドローン管制システム(UTM) ✓ 配送・回収ルートの最適化 ✓ 輸送口ボの運用シミュレーション	IT・通信	✓ 無線電波の伝播・強度シミュレーション
		金融	✓ 保険料算出におけるリスクシミュレーション

3. ユースケース

③ 3D都市モデルを活用した社会的課題の解決

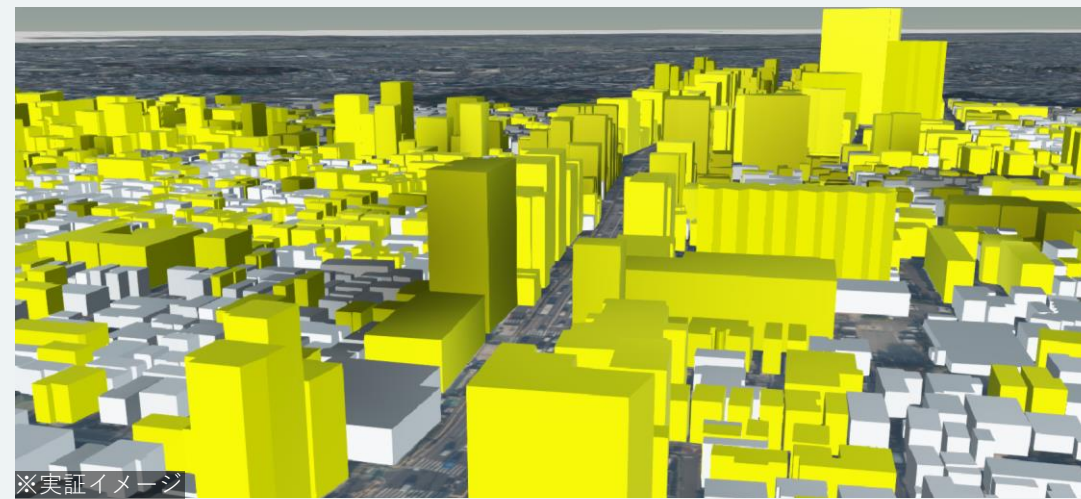
防災政策

□ 全国48都市 洪水、土砂災害等のハザード情報の3D表示



- ー 3D都市モデルのリーディング・ユースケースとして、洪水浸水想定区域図をはじめとする災害ハザード情報の3D化と3D都市モデルへの重畳を全国48都市で実施。
- ー 避難計画立案や住民の防災意識惹起等の防災政策の高度化に活用。

□ 郡山市中心市街地 防災政策の高度化実証実験



- ー 都市計画基礎調査において取得した建築物の階層、階高情報を基に3D都市モデルを洪水等の浸水想定を重ね合わせ、垂直避難可能な建物をピックアップ・可視化。
- ー 市町村と連携し、防災協定、防災計画、避難訓練等に活用。

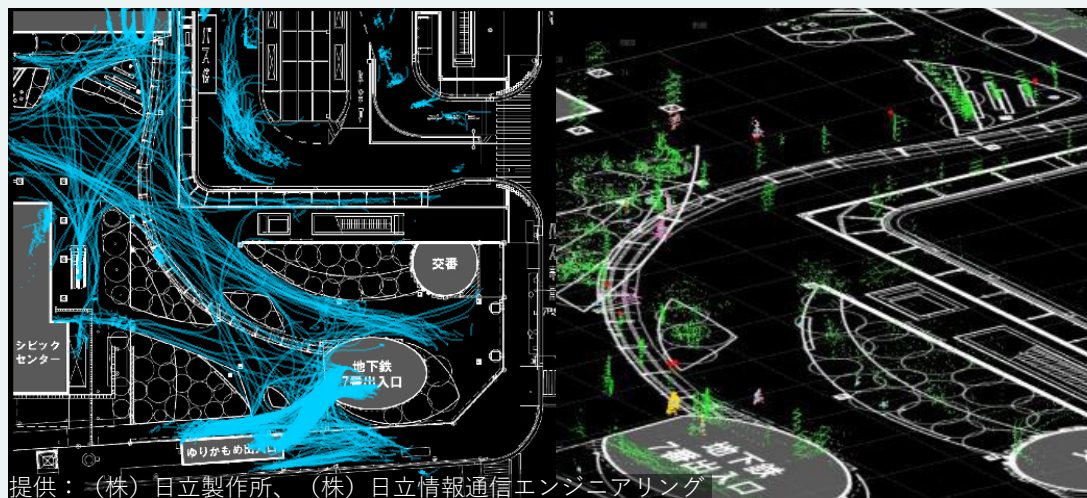


3. ユースケース

③ 3D都市モデルを活用した社会的課題の解決

ニューノーマルへの対応

□ 豊洲・松山 モニタリング技術実証実験



- ー レーザセンサー等で取得した人流データを3D都市モデルに重畳し、混雑状況の可視化を実証。
- ー ビル管理者や市町村と連携し、ニューノーマルへの対応として混雑緩和のための情報発信や防災、マーケティングに活用。

まちづくりの高度化

□ 都市計画行政の効率化実証実験



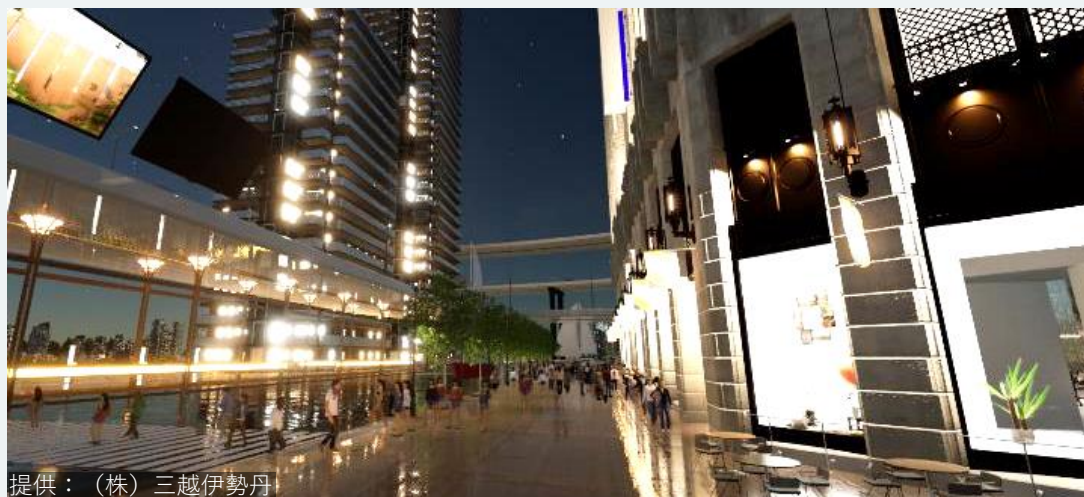
- ー 都市計画基礎調査等を活用し、任意の建物を選択すると開発許可の申請に必要な情報や各種データ（都市計画規制や土地利用に関する情報等）を参照できるシステムを構築。
- ー 市町村と連携し、民間側の申請時間短縮や承認事務の効率化等に活用。

3. ユースケース

④ 3D都市モデルを活用した民間市場の創出

ニューノーマルへの対応

□ バーチャル都市空間における体験価値の提供



- ー百貨店と連携し、バーチャルショッピングが可能な都市空間を構築。
- ー単なるECサービスではなく、周辺も取り込んだ仮想都市空間を構成し、様々なコンテンツを組み合わせることで、外出控えの中でもまちあるき・体験価値を提供する。

新規事業の創設／サービスの高度化

□ ドローン物流システムの高度化



- ードローンシステム会社と連携し、3D都市モデルを活用したドローン管制システム（UTM）を構築。航行管制や飛行計画立案時のシミュレーション（ビル風、交通量、他の飛行体）等に利用。
- ー新技術と連携して新たなソリューション/市場創出。

本日のアジェンダ

1. プロジェクトの概要
2. 3D都市モデル
3. ユースケース
4. 整備・活用ムーブメントの惹起
5. 今後の展開

3D都市モデルの全国展開に向けて

4. 整備・活用ムーブメントの惹起

① 3D都市モデルの整備・活用ムーブメントの惹起

- ✓ 「データは21世紀の石油」と呼ばれて久しいが、データ自体に価値はなく、**3D都市モデルデータを利活用したソリューション創出こそが重要**。
- ✓ また、本事業によって整備される3D都市モデルは大規模ではあるものの、全国を網羅するものではない。**次年度以降は地方自治体自身が整備・更新を担う必要がある**。
- ✓ このため、地方自治体、産業界、テック系人材に加え、一般の関心を惹起し、**3D都市モデルの整備**及び**多様なユースケース開発促進**に向けたムーブメントの惹起を目指す。
- ✓ このため、以下の取組を実施。
 - 地方自治体に対する整備・利活用支援
 - メディア戦略・情報発信
 - オープンデータ化

② 地方自治体に対する3D都市モデル整備・利活用支援メニュー

※すべて仮称 ※開発中であり変更があり得る

〔自治体職員向けガイダンス〕

3D都市モデル整備・利活用ガイダンス

- ✓ 3D都市モデルの整備・更新方法
- ✓ 3D都市モデルの活用方法
- ✓ オープン化手法

〔民間・研究機関向けガイダンス〕

モニタリング技術実証報告書

- ✓ 都市活動モニタリングのための技術検証結果

サービス開発・マネタイズに関する報告書

- ✓ 民間サービス開発のための実証結果

〔開発者向け技術資料〕

製品仕様書・作成手順書

- ✓ データ仕様、作成手順

3D都市モデルの活用ガイドライン

- ✓ 活用事例、開発方法

建築情報活用ガイドライン

- ✓ BIMデータとの統合手法

災害ハザード情報3D表示マニュアル

- ✓ ハザード情報の重畳手法

実証環境説明書

- ✓ 実証環境（インターフェース）の構築手法

〔開発者向けオープンソース〕

モデル自動生成システム

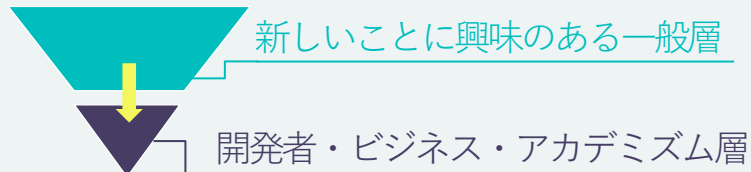
品質管理支援システム

実証環境システム

4. 整備・活用ムーブメントの惹起

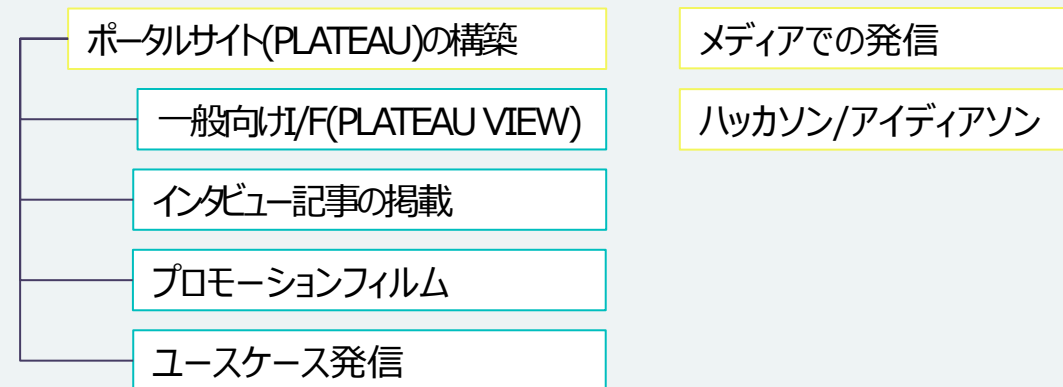
③ メディア戦略・情報発信

〔メディア戦略〕



- ✓ Project PLATEAUでは、**情報発信におけるエンターテインメント性を重視**。“ワクワク感”や“面白さ”をツールとしてムーブメント惹起を目指す。このため、コンセプト提示、ウェブサイト、メディア、イベント等の各種発信ツールを用いる。
- ✓ リーチするターゲットとして、第一に**ビジネス/テック系に関心のある一般層**を設定。さらに、一般層への関心惹起を通じて、第二層として各種業界や研究機関等の**開発者・ビジネス・アカデミズム層**を刺激。相乗効果によりユースケース開発の機運醸成を狙う。
- ✓ また、ユースケース開発の機運醸成を契機として、**データ整備主体である地方自治体の関心を高め、全国のデータ整備を促進する**。

〔情報発信事業体系〕



〔プロジェクトのネームとコンセプト〕



PLATEAU
by MLIT

Map the New World.

新しい世界を創る。

4. 整備・活用ムーブメントの惹起

③ メディア戦略・情報発信

〔ポータルサイト「PLATEAU」〕



<https://www.mlit.go.jp/plateau/>

Ver0.1
DONE



Ver0.2
NOW IN PROGRESS



Ver1.0

2020/12

- プロジェクトのプロセスを発信するポータルサイト“PLATEAU” Ver0.1を公開
- 3D都市モデルのウェブ実証環境である“PLATEAU VIEW” Ver0.1を実装
- 東京23区モデルや洪水災害リスク情報ははじめとするいくつかの先行整備データを公開
- 3D都市モデルを活用したアイデアソン/ハッカソンの開催決定・告知
- 進行中の複数のユースケース開発/実証実験を公開

2021/02-03

- 1月から3月にかけて全国約50都市の3D都市モデルを“PLATEAU VIEW”において追加公開
- あわせて人流データ等の都市活動データを公開
- ユースケース開発/実証実験の追加公開
- アイデアソン/ハッカソンの結果発表
- “PLATEAU VIEW”の機能を順次拡充

2021/-04

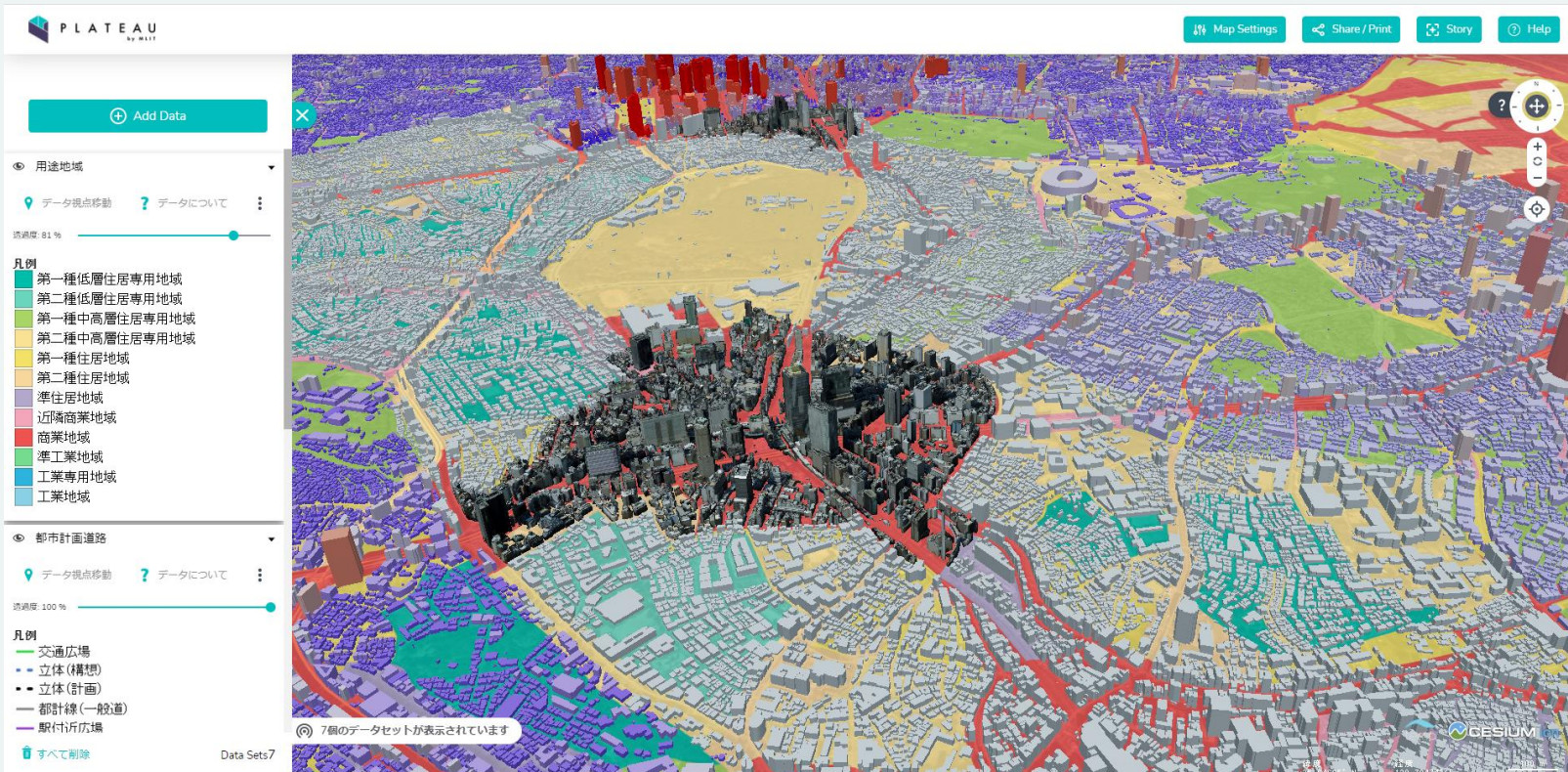
- 3D都市モデルのデータセットをオープンデータ化
- 3D都市モデル構築・利活用ガイダンス、データ仕様書、ユースケース事例集等の各種ドキュメントを公開
- コンセプトフィルム等の追加コンテンツを公開

- ✓ Project PLATEAUでは**プロジェクトの進捗自体を情報発信のコンテンツとして扱う**。
- ✓ 年度末のプロジェクト完遂までの間、3D都市モデルや重畳データ等の**データセットの追加公開**、ユースケース開発等の**各種実証実験の進捗報告**等をウェブサイトで継続的に行い、**プロジェクトに対する関心を重層的に高めていく**。

4. 整備・活用ムーブメントの惹起

③ メディア戦略・情報発信

〔ウェブアプリ「PLATEAU VIEW」 (ベータ版Ver0.2)〕

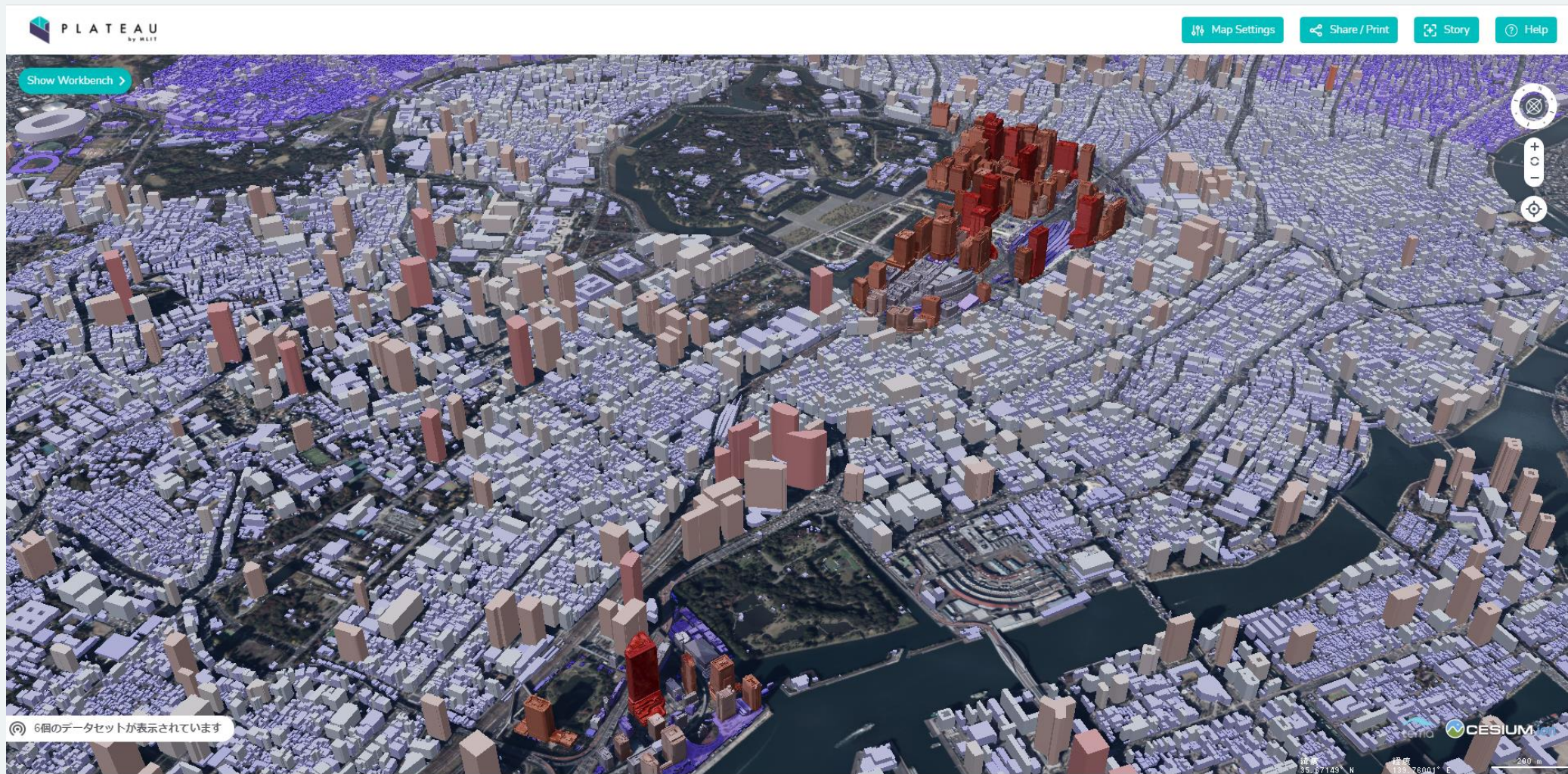


- ✓ 3D都市モデルへの関心を惹起するため、一般向けユーザーインターフェースとして、ウェブ上で稼働するビューワ「**PLATEAU VIEW**」を開発。
- ✓ CityGMLで構築されたジオメトリとセマンティクスの統合モデルの特性をI/F上でも再現。**災害情報や都市計画情報、人流情報等の重畳データと重ね合わせた可視化も可能。**

渋谷区を中心に用途地域情報を重ね合わせて表示

4. 整備・活用ムーブメントの惹起

千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区（建物高さで色分け）



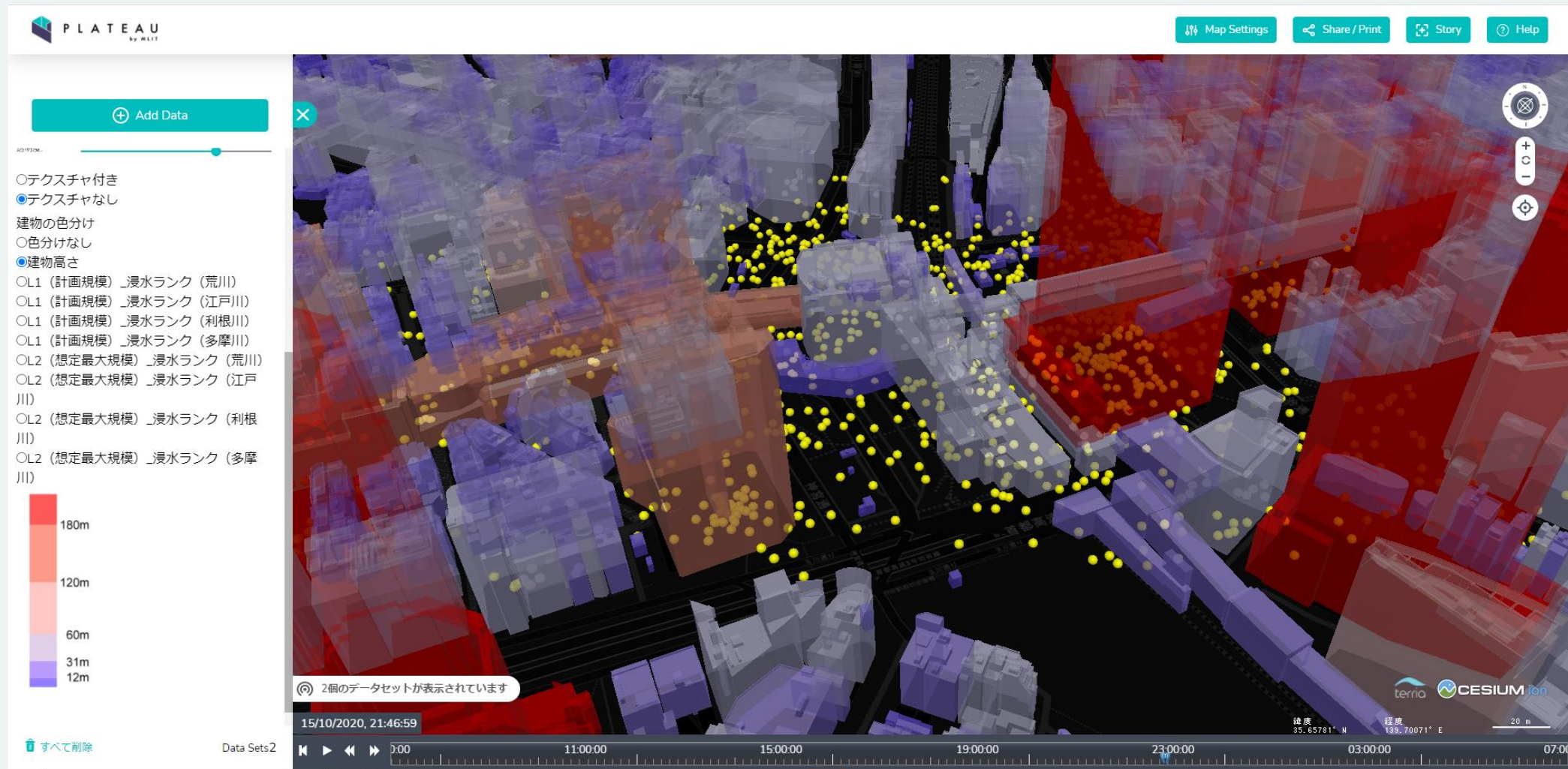
4. 整備・活用ムーブメントの惹起

新宿区LOD2モデル・建物現況調査情報を表示



4. 整備・活用ムーブメントの惹起

渋谷区に人流データを重ね合わせて表示



4. 整備・活用ムーブメントの惹起

江東区に荒川浸水想定区域図（L2）を重ね合わせて表示



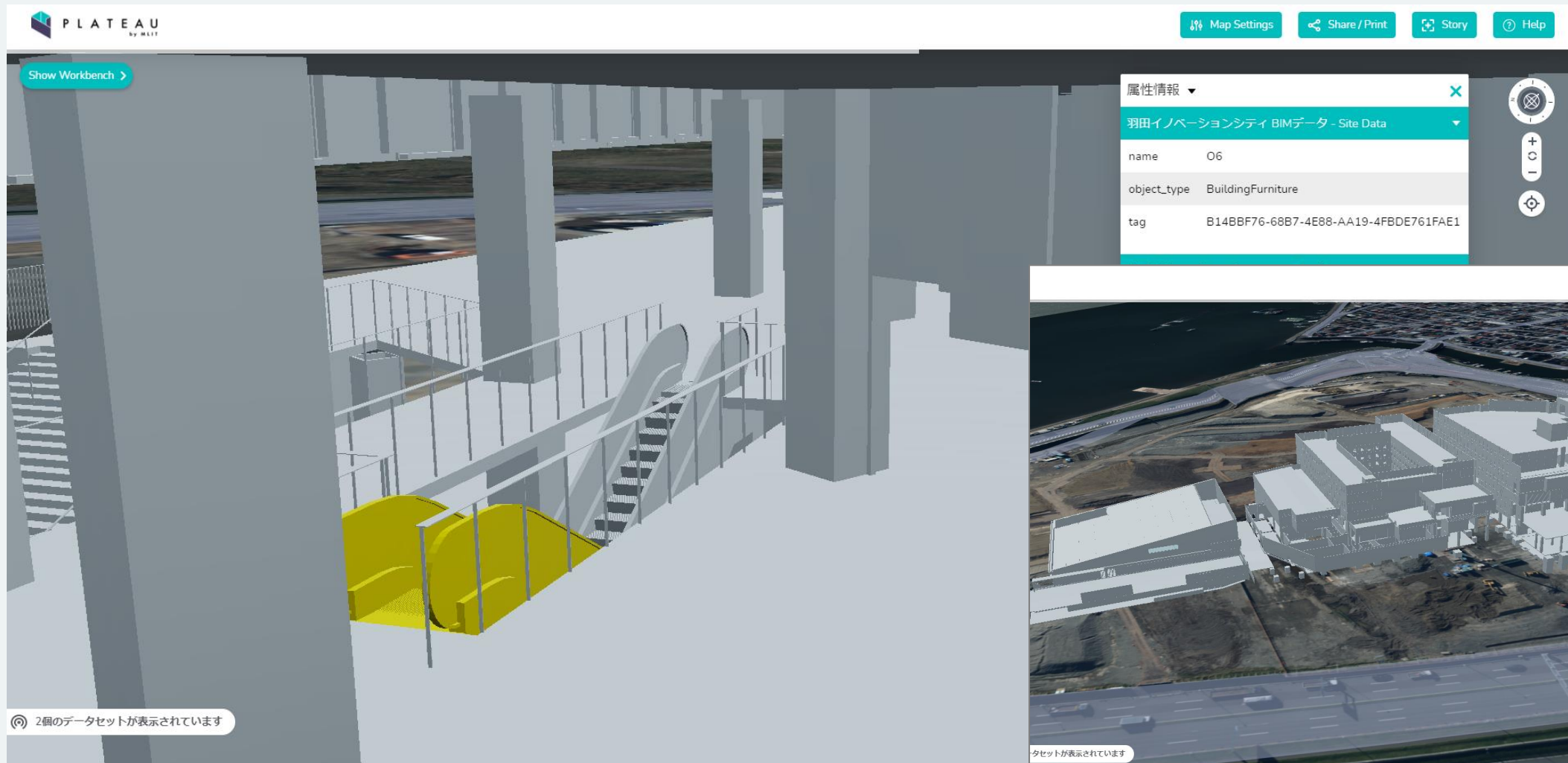
4. 整備・活用ムーブメントの惹起

江東区の浸水想定区域図（L2）と避難施設情報を重ね合わせて表示



4. 整備・活用ムーブメントの惹起

羽田イノベーションシティのBIMデータを活用し、LOD4の3D都市モデルに統合



4. 整備・活用ムーブメントの惹起

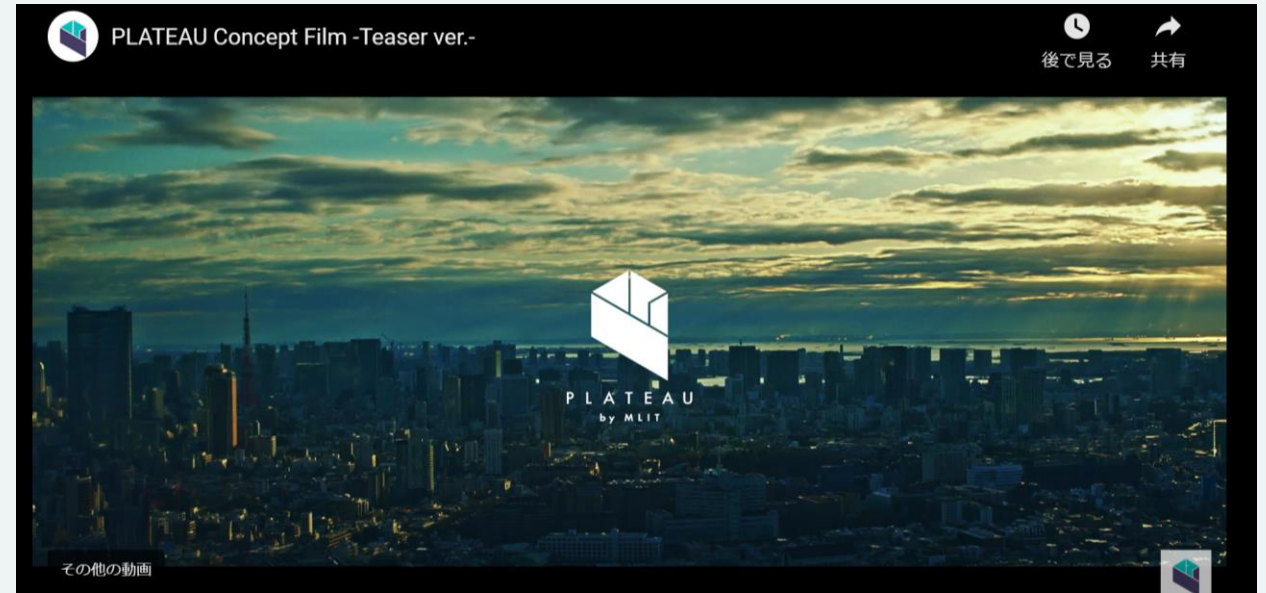
③ メディア戦略・情報発信

〔有識者インタビューの発信（PLATEAU）〕



12月2日 Rhizomatiks 齋藤精一 × 黒鳥社 若林恵

〔コンセプトフィルム等の映像コンテンツ〕



- ✓ ポータルサイト「PLAETAU」で幅広い分野の有識者インタビュー記事を掲載（全4回を予定）。**各業界のオピニオンリーダーを巻き込んだ情報発信により、多様な層の関心を惹起。**
- ✓ さらに、**対談形式のインタビュー方式の採用**により、Project PLATEAUの意義や展望に向けた議論を深め、プロジェクトの方向性に反映させていく（**アジャイルなコンセプトメイキング**）。
- ✓ **3D都市モデルのコンセプトやポテンシャルを伝えるため、映像コンテンツを制作。**現在は“ティザー版コンセプトフィルム”を公開中。
- ✓ 今後、有識者インタビューの議論やユースケース開発に向けた実証実験成果を取り込んだ**オフィシャル版コンセプトフィルム**や**ユースケースフィルム**を公開予定。

4. 整備・活用ムーブメントの惹起

③ メディア戦略・情報発信

〔ユースケース開発のプロセスを発信（PLATEAU）〕



21/1/29にはPLATEAU Ver0.2としてアップデートを実施。継続的にユースケース紹介記事を充実。

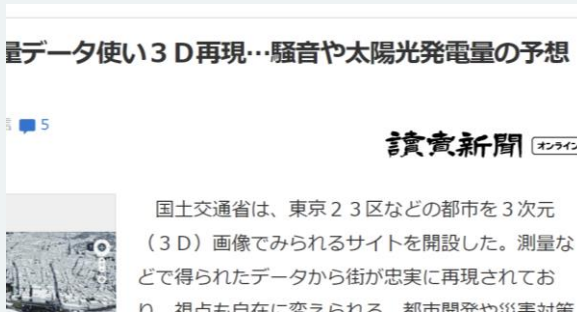


- ✓ ポータルサイト「PLAETAU」で現在進行中の3D都市モデルを活用したユースケース開発のための**実証実験の成果をプロセスも含めて継続的に発信**。
- ✓ 3D都市モデルのポテンシャルの発信、技術的知見の共有を図るとともに、**実証実験自体をコンテンツ化して情報発信のツールとする**。

4. 整備・活用ムーブメントの惹起

③ メディア戦略・情報発信

〔メディアを通じた情報発信〕



〔ハッカソン／アイデアソン〕



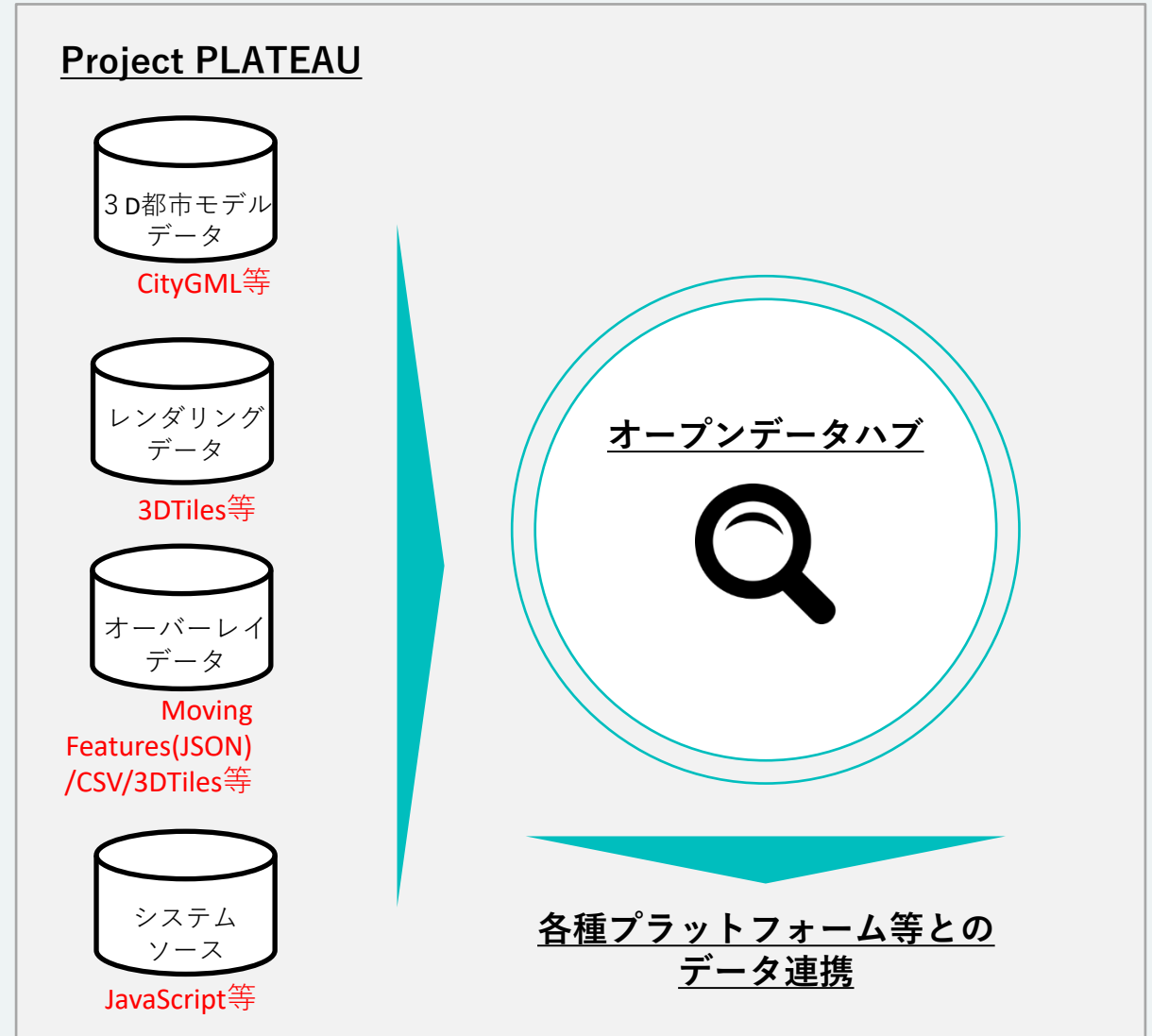
- ✓ マスコミ、業界紙等に加え、テック系媒体やオンラインメディアも含めニュースレター等でアプローチ。イベントやヒアリング等を通じてインフルエンサーやSNSユーザを巻き込み。
- ✓ 3D都市モデルデータを用いた**アイデアソン／ハッカソン「東京23区から新しい世界を創る」**を企画。
- ✓ アイデアソンは令和3年1月16日に開催（オンライン）され、**150名以上の応募があった**。社会人や学生、大学ゼミ等の幅広い参加者を得て様々なアイデアが積極的に議論された。

4. 整備・活用ムーブメントの惹起

④ オープンデータ化

- ✓ 3D都市モデルを活用したまちづくりのDXや課題解決型のイノベーションを実現するため、令和3年4月までに**プロジェクトで整備した各種のデータセットをオープンデータとして公開**。
- ✓ 都市計画基礎調査等の属性情報を保有する地方自治体と調整し、オープン化可能な情報を選別。
- ✓ 政府標準利用規約に基づく二次利用を可能とすることで、各分野における研究開発や商用利用を促進。
- ✓ 国土交通データプラットフォームとも連携し、地理空間情報等のデータ連携を推進。

オープンデータ化のイメージ



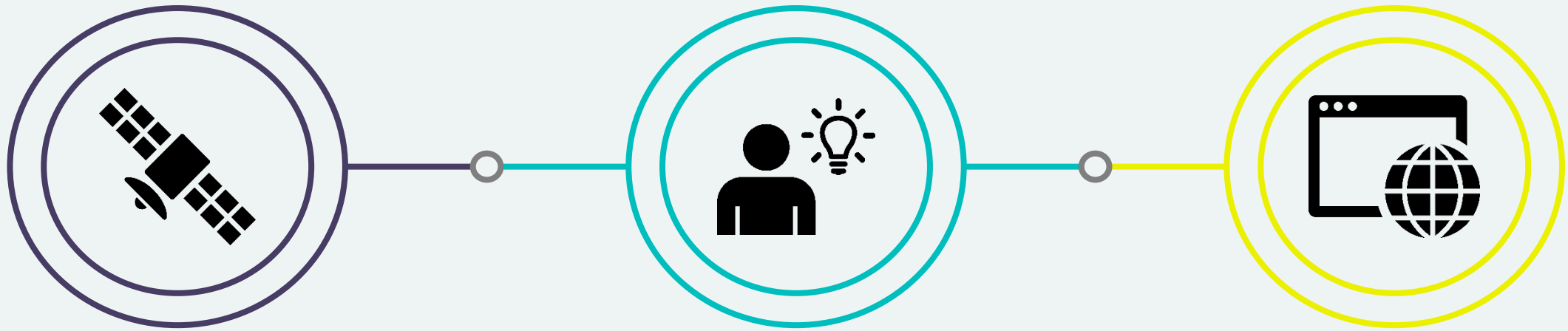
本日のアジェンダ

1. プロジェクトの概要
2. 3D都市モデル
3. ユースケース
4. 整備・活用ムーブメントの惹起
5. 今後の展開

3D都市モデルの中長期的展開に向けて

5. 今後の展開

R3年度以降の中長期的展開と残された課題



データ整備の効率化・高度化

(さらに緻密なデータの作りこみ／
安価で持続可能な維持更新)

- 3D都市モデルの持続可能な整備・更新のエコシステムの構築
- ユースケースに応じた緻密なスケールでのデータ作成
- 都市計画基本図・都市計画基礎調査等を活用した3D都市モデルのデータ整備の効率化方策

ユースケースの拡充

(官民連携、市民参加型まちづくり)

- 自動運転やロボット運送など、スマートシティの社会実装に向けた3D都市モデルの活用促進
- 活用促進に向けたオープンデータ化／プラットフォームによる一元的管理のあり方

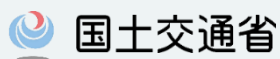
都市計画GISの高度化

(都市空間データの統合的管理)

- 地方公共団体が都市施設や都市計画決定等の情報を管理する都市計画GISと連携した、都市空間データの高度化・デジタル化の推進

プロジェクト・パートナー

プロジェクト・ディレクション



プロジェクト・マネジメント

日建設計総合研究所

3D都市モデルの技術仕様検討



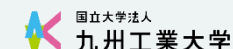
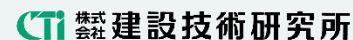
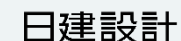
3D都市モデルの整備



ユースケース開発実証



ユースケース開発



サービス開発実証



メディア戦略／アート・ディレクション



情報発信

